

# さいたま市教組新聞

編集・発行/  
さいたま市  
教職員組合  
〒330-0843  
さいたま市大宮区  
吉敷町4-93-5  
大宮教育会館2F  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
2010.3.24(水)  
No.168

# 教育予算大幅カット

## 保健室事務補助業務を全廃

清水市長のマイナスイメージをシリング方針のもと、2010年度教育予算は大幅カットされ、今まで実施してきた学校行事をはじめ、子どもたちの安心・安全に関する人員配置などができなくなりました。

19日閉会した市議会では採択された2010年度のさいたま市一般会計予算の教育関係では特別支援巡回相談員にかかる予算は60万円全額カット、以下歯の健康パンフ24万1千円、市学校栄養士会補助金15万円、市学校給食研究会補助金5万円、保健室事務補助業務委託612万7千円が全額カットされました。

また、学校警備業務は昨年度比25%の650万円カットされました。その結果、学校に配置される警備員さんの勤務時間が短くなります。

館岩や赤城の両少年自然の家で行う小中学校の宿泊行事のバス輸送補助金は前年度比25%の2053万円カットされ、保

護者負担が児童生徒一人当たり1000円となります。

この分はどこに消えたのでしょうか。予算を見ると、土曜日チャレンジスクール(ドチャレ)に787万円、放課後チャレンジスクールに4248万円を組んでいます。合わせて5035万円です。削減された事業の昨年度予算額を合計してもお釣りがでます。



新規事業のドチャレと放課後チャレンジスクールに予算を奪われた格好です。今後、現場にかかる負担を軽減させるための対策をとるよう市教委に要望する必要があります。



3月10日、教育長と山本委員長、伊藤副委員長、桐淵教育長と山本委員長、伊藤副委員長に接室にて

## 教育長と懇談

3月10日、市教組役員は桐淵教育長と30分にわたって懇談しました。昨年9月29日につき年度2回目の懇談でした。

席上、山本執行委員長は、全国一

## 1156筆 予算削減反対FAX要請行動

保健室事務補助業務の予算削減に反対するため、市教組は市議会野党の自民党、公明党、共産党の各市議団宛に予算削減反対、予算復活の要請行動を行いました。緊急の取り組みにもかかわらず、15日から19日までに市内85校から要請文が届きました。

個人要請書は自民党に51校から57筆、公明党に48校から54筆、共産党に50校から56筆届きました。4名連記要請書は自民党に68校から33筆、公明党に68校から33筆、共産党に65校から31筆届きました。いずれも市教組事務所より市議会野党3党派にFAX送信しました。また、この数字には市教組養護教員部の呼びかけに応じていただいた各校の養護教員の皆さんからの署名も含まれています。

残念ながら19日市議会本会議で予算案が可決成立しました。今後は今年度の秋以降の2011年度の予算編成の時期に、削減された予算の復活を求めて取り組みを強化したいと思っております。

懇談では教育予算の削減問題と教職員の長時間過密労働の問題を話題にしました。

予算については確保に努力しているが難しい面があること、勤務時間問題では教職員課で今以上に踏み込んだ指導を検討していると述べました。

## 【165号の記事の追記】

さいたま市教組新聞165号「ドチャレ」は市長のパフォーマンスの記事中の「地域コーディネーターは時間が来るとさっさと帰るそうです」の表記に関して、実際の実態を正確に把握していない、「さっさと」という語句は良い意味合いに取れない、との指摘がありました。「退勤時間がくれば帰る」の意味合いで使用しましたが、誤解を生む表記でしたので「退勤時間が来ると帰るそうです」と訂正します。またコーディネーターの方から「定時の始業・終業時間の外にも勤務しています」との指摘がありました。記事中にはコーディネーターの勤務実態には言及していません。今後、地域コーディネーターの勤務実態について理解を深める必要があると考えます。

「ドチャレ」は2009年度を含め4年間で全校実施される予定です。地域コーディネーターの仕事内容が「ドチャレ」の実施で増えているのではないのでしょうか。

市教組は「コーディネーターと教職員のコミュニケーションを深め、改善すべき点の把握に努める必要があると考えます。」